

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-15 道路整備計画等運営事業 □支援部門				タイムスコード及び個別事業名	
					1149(経常)	負担金(県都市計画街路事業促進協議会)
主管課	道路整備課	関連課	都市計画課、交通政策課、経営企画課他			
分野名	道路整備					
目標 (目標値)	人・車と環境にやさしい道路網の構築					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	100千円	80千円			
	(国・県)					
	(負担金等)					
	(一般財源)	100千円	80千円			
	人員配置数	1.3人	1.1人			
	人件費	11,976千円	10,315千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	12,076千円	10,395千円			
	市民1人当 りの経費	68円	59円			
	対象者1人 当りの経費					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・中長期的な道路整備方針の策定については、将来的な交通体系や交通量等の予測が策定の重要な要素となり、土地の権利者等の理解と協力が必要不可欠である。しかしながら、考慮すべき環境及び景観への配慮については、これらと相反しており、そのすり合わせに苦慮している。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・短期的な道路整備計画の中で、整合性を考慮し、バランスを図り、取組みを進めた。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・都市計画道路等の整備は、財政面の負担が大きく、また地権者をはじめとする住民の理解と協力を得るために多くの時間を要している。 ・環境及び景観への配慮に関する課題が多く、道路整備方針を策定する際の大きな課題となっている。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・財政的な担保や住民等の理解と協力を得るため、都市計画道路見直しに伴う道路の整備プログラムの作成も視野に入れ、情報公開等の手法により早い段階から広く住民等へ計画等を提示する。				
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)		
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	改善の必要性			評価結果	改善の必要性
B	有	・道路交通網を明確にするため、関連各課との協議及び調整を行い、道路整備方針の策定について検討して行く。			B	有
課長名		道路整備課長 館下優三			部名・部長名	
					都市整備部 山内廣行	